

歳出の主な質疑

統一した基準に基づく財政書類作成支援業務として、税理士に200万円の委託料を支出し財政状況を診断していただいている。平成23年から26年度は、大変厳しい財政状況であると指摘されたと思うが現在の状況は。また、今後の財政運営は。

答 平成26年度からときがわ町財政運営計画に基づいて行財政改革を進めた結果、今回の診断では総評として若干受益者負担の割合が低いとの指摘があったが、債務償還能力、資金繰り状況は留意すべき状況にないと評価されている。

今後の財政運営については、新型コロナウイルスの影響で町税、地方交付税などの税収が先の見通せない中ではあるが、もう一度身を引き締めて財政運営をしていきたいと考えている。

答 若者定住化促進事業のためし住宅「やまんなか」で業務委託料56万円を支出しているが、利用者使用料

は。また、成果は。

答 利用者使用料は26回利用で40万2千円。成果は利用者が即移住に結びつくわけではなく、町を知ってもらうことが重要である。把握している移住件数は合計2件であるが、その他にも何件かの移住があると聞いている。町としても成果が出せるよう努めていきたいと考えている。

答 行政福祉バスの利用回数が平成30年度、令和元年度ではほとんど変わらないのに令和元年度委託料は100万円減額となっている。

答 毎年、複数の業者から見積りを取って業者を選定しているが、令和元年度は前年度に比べて安価に契約できた。更に、利用形態では前年度に比べ、近距離で短時間の移動が多かったため減額となった。

答 老人在宅事業「お料理教室おすそわけ」の成果は、自分で作った料理をおすそわけしたという声を聞き、手応えがあったと感じる。

答 ファミリーサポート事

業の周知は。

答 対象家庭にチラシを配布、子育て支援センターやホームページで案内。

答 食生活改善としての栄養講座の反応と評価は。

答 男性の料理教室は好評だった。スモールチェンジ栄養講座についても、学問的な話や実習を含め好評だった。

答 ごみ減量化モデル事業と刈草、剪定枝受入れ事業の成果は。

答 モデル事業については、ごみの削減量で可燃ごみ2・9トン、雑がみ1・5トンで10万8千円の事業効果があり、刈草、剪定枝受入れ事業については、8・5トン回収し29万4千円の削減となった。

答 刈草、剪定枝受入れ事業で約30万円の削減になったが、その処理に約50万円かかるのは、町の経費が増えるのでは。

答 金額では元は取れていないが、費用をかけてでも循環型社会、低炭素社会を構築する。

答 役場の中ではどのようなごみの減量化を図ってい

るのか、モデル事業のデータはあるが、役場のデータがないのでは。

答 どれくらい資源化できているのか、モデル事業のデータは見えない形にしようと考えている。

答 給食センターにおける食べ残し等資源化の取り組みが見えないが。

答 昨年度中は具体的な動きは取れなかった。今後、減量を図るため、コンポスト導入等を検討したい。

答 ときがわ産材をどのようにPRや営業をしているのか、そしてその成果は。

答 町長や町担当が他市町村に直接PRしている。深谷市では、昨年度に庁舎今年度は保育園で活用していた。三波溪谷の駐車場関連で土地借上料等毎年経費を支出しているが、今後どうするか。

答 夏場の有料化を視野に入れ検討していく。

答 事業評価は行ったのか。事業評価は実施しておらず、当初予算のヒアリングに合わせて各課1ないし2事業の事業見直しを行ったが、見直しに至らなかった。

歳出の性質別構成 ※一般会計のみの決算額です。(単位：千円、%)

区分	決算額	前年額	構成比	説明
義務的経費	2,290,540	2,263,488	43.5	
人件費	960,940	955,109	18.2	職員の給料や議員報酬などに使うお金
扶助費	671,752	658,657	12.8	医療費・児童手当などに使うお金
公債費	657,848	649,722	12.5	町の借金を返済するために使うお金
投資的経費	437,567	698,979	8.3	
普通建設事業費	308,132	696,333	5.8	道路整備・建物などの建設に使うお金
災害復旧事業費	129,435	2,646	2.5	災害によって被災した施設を原形に復旧するために使うお金
失業対策事業費	0	0	0.0	失業者に就業の機会を与えることを主たる目的として、道路・河川・公園の整備などを行う事業に要する経費
その他の経費	2,534,296	2,521,041	48.2	
物件費	927,015	826,223	17.6	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入などに使うお金
維持補修費	30,005	50,331	0.6	公共用施設などの維持に使うお金
補助費等	798,926	799,531	15.2	補助金・負担金として支出するお金
積立金	279,761	334,230	5.3	町の基金に積み立てるお金
投資及び出資金・貸付金	0	20,000	0.0	公共事業などに対する財政援助のお金。行政施策上の目的のために地域の住民、企業に貸し付けるためのお金
繰出金	498,589	490,726	9.5	特別会計に繰出金として支出するお金
合計	5,262,403	5,483,508	100.0	

た。

答 事業補助、団体補助は監査の対象か。

答 監査を実施している。監査報告のまとめで、起業支援施設運営業務について締結した契約内容と実態が異なる点とは何か。

答 委託契約については、相手方の管理運営提案書に基づき締結されている。月曜日から金曜日まで相談窓口を開設することになっていったが、実態が異なる状況だった。

特別会計の歳入歳出状況

特別会計	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	15億8841万円	15億3988万円	4853万円
後期高齢者医療	1億3572万円	1億3393万円	178万円
介護保険	10億9735万円	10億4239万円	5496万円
浄化槽設置管理事業	1億2485万円	1億2201万円	283万円
関口茂八奨学事業	2383万円	2383万円	0円

※表示単位未満を切り捨てているため、差引額が一部一致しません。

	収入	支出	
水道事業会計	収益的収支	3億2540万円	3億1697万円
	資本的収支	164万円	9410万円

収益的収支…サービスの対価としての水道料金収入とサービスの提供に要する支出からなる収支
資本的収支…企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良等に関する支出とその財源となる収入からなる収支

令和元年度 特別会計歳入歳出決算認定